



ユーラシア人口・家族史プロジェクト資料

--- 近世日本の宗門改帳・人別帳

「ユーラシア人口・家族史プロジェクト資料」は、全国各地に所蔵されている宗門改帳・人別帳などを複写・製本したもの(約 2000 冊)です。利用には書面による許可申請が必要です。

●ユーラシア人口・家族史プロジェクトとは

ユーラシア人口・家族史プロジェクトは、1995 年から 2000 年まで、速水融(国際日本文化研究センター名誉教授)を代表としておこなわれていた、国際的な共同研究プロジェクトです(文部省科学研究費創成的基礎研究「ユーラシア社会における人口・家族比較史研究」)。人口と家族から近代化以前のユーラシア社会を比較検討するため、近代以前の家族・人口に関する史料を収集・分析する、というものでした。その研究拠点は、国際日本文化研究センター速水プロジェクト室や、麗澤大学東京研究センターに置かれていました。また、このプロジェクトの前身として、国際日本文化研究センターにおける共同研究「近代化過程における人口と家族」(1992～1995、代表・速水融)があります。

このプロジェクトに関しては下記のような参考文献があります。

- ・ 速水融編著. 『近代移行期の人口と歴史』. ミネルヴァ書房, 2002 年.
- ・ 速水融編著. 『近代移行期の家族と歴史』. ミネルヴァ書房, 2002 年.
- ・ 『ユーラシア社会の人口・家族構造比較史研究 : (平成 7-11 年度)最終実績報告書』. 2000.
- ・ 落合恵美子. 「ユーラシアプロジェクトの達成 : 歴史人口学と家族史」. 『社会科学研究』. 57(3/4), 2006, p.57-80.
- ・ web サイト「ユーラシア人口・家族史プロジェクト」. <http://www.fl.reitaku-u.ac.jp/pfhp/eap/>

●ユーラシア人口・家族史プロジェクト資料

ユーラシア人口・家族史プロジェクトでは、近世日本の人口史料として、国内各地にのこる宗門改帳・人別帳などの史料が収集・調査されました。史料の所蔵者は、国内各地の図書館、資料館、博物館、個人など多岐にわたります。調査対象となった史料は、マイクロフィルム撮影とその紙焼きにより複製され、研究に活用されました。

プロジェクトの終了後、宗門改帳・人別帳のマイクロフィルムを紙焼き製本したもの約 2000 冊が、国際日本文化研究センター図書館に受け入れられました。これが「ユーラシア人口・家族史プロジェクト資料」です。

当図書館の蔵書となったのは、プロジェクトにより収集された史料の紙焼き製本のうち、原所蔵者によって「研究者の研究目的による閲覧利用」が許諾されたもののみに限られています。また史料の性格上、プライバシーに配慮をしなければならないため、施錠された閉架書架に収納されています。

●利用方法

ユーラシア人口・家族史プロジェクト資料は、下記の要領で、利用に供されています。

- ・ 利用は学術研究に従事する者に限る。
- ・ 利用を希望する場合は、所定の申請書を提出し、承認を受けなければならない。また利用の可否は、委員会によって審議される。
- ・ 利用は所定の場所に置いて、閲覧のみできる。(複写、貸出は不可)
- ・ 資料を利用した研究成果を公表する際には、プライバシー等に充分配慮する。
- ・ 資料の書誌情報・所蔵情報は、日文研図書館 OPAC(蔵書検索データベース)により、センター内部からのアクセスのみ検索できる。(外部からのアクセスでは検索できない)

なお上記の要領は、2001 年 5 月の研究資料委員会で制定された利用内規にもとづきます。